

津波避難路が完成しました

～国道7号 酒田市宮海地区～

平成23年3月に発生した東日本大震災では、津波避難路が整備された地域において、津波発生時に地域住民の方々が素早く、かつ、安全に避難できたことにより、津波避難路の重要性が広く認識されました。

国土交通省酒田河川国道事務所では、地域の方々と一体となり、平成24年2月より合同で現地調査を行い、地元住民、地元企業の意向も踏まえ、津波避難路の工事を行いました。

この度、宮海地区津波避難路が完成し、12月5日（水）歩き初め式を開催しました。



平成24年2月
宮海地区津波避難路検討会の様子



酒田北港 周辺図



完成した津波避難路



歩き初め式には、酒田市長をはじめ、地元自治会および宮海地区に立地する企業の代表の方々など、多数の皆様のご臨席を賜りました。

今後は、防災訓練等で利用していただき、避難路への認識を深め、有事の際に役立てていただきたいと思います。



テープカットの様子



避難路を登る参加者

避難路の概要

- 整備場所：酒田市宮海地区
- 整備高さ：15～20m(高低差)
- 避難場所：旧酒田工業高校
- 想定される避難対象地区：宮海地区(約30社)
- 整備費用：5百万円(工事費)
- 完成年月日：平成24年11月30日

国道7号酒田市、遊佐町・47号酒田市、庄内町に関するお問い合わせは、国土交通省 酒田国道維持出張所 までお願いします。

住所：酒田市豊里字南沼田ノ上11-3

TEL：0234-34-2331

ホームページURL：<http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/>



※写真・個人名を本紙に掲載することについては、皆様から了承を得ています。

平成24年12月20日 発行
国土交通省東北地方整備局
酒田河川国道事務所
酒田国道維持出張所

